

2023.3/15(水)19 時-

24 目標3月状況別セミナー①

2年コースなど現在財計基礎マスター3・4を
受講中の方向け 

3月以降のスケジュールと ポイント

【本日の内容】

セミナーの開催目的 p.2

I ゴールから逆算する p.3

- 1 合格までに必要なこと（テキストの理解・想起・得点に繋げる）
- 2 基礎マスター期の学習のポイント
- 3 学習ペースの組み方・科目間のバランス
- 4 2年コースの場合 3～6月のスケジュール例とポイント

II サポート制度の活用 p.8

- 1 現在のサポート制度（全体向け情報共有⇔個別具体的なサポート）
- 2 今後導入予定のサポート（オープンチャット、仮想空間等）
- 3 よく伺う失敗談

III 学習のポイント p.11

- 1 財務理論のポイント・テキスト使用例
- 2 監査論のポイント・テキスト使用例
- 3 社会人合格者インタビューの紹介

巻末参考資料・・・相談窓口・12月までのスケジュール・各科目学習法(10月HR資料から)

アーカイブ時共有資料・・・合格者からのメッセージ集・失敗談とおすすめの学習法

※2年コースで進捗が大きくずれている場合・・・3/18(土)状況別セミナー②を視聴

はじめに セミナーの開催目的

【2つの面で、時間対効果を高める】

☑定期的に、時期ごとの目標・よくご相談いただく内容を共有



短期的・中期的ゴールが明確になる



学習方針などで迷いや不安がなく、学習に集中できる。



自習の時間対効果が上がる。

☑学習ペースがずれたり成績が伸び悩んだ時にも・・・



定期的にセミナーで、
状況別の優先順位/スケジュールの組み方共有



自力でもある程度立て直せるようになる。
質問・相談時、時間内でより具体的な話が可能になる。



質問・相談などサポート利用時の時間対効果が上がる。

今後の状況別セミナー実施予定

2023 年 7 月・ 9 月末(短答直前期)・ 12 月短答後

2024 年 1 月末・ 4 月頭・ 5 月短答後・ 7 月・ 論文後

I ゴールから逆算する

1 合格までに必要なこと

	目安	使う教材・サポート
テキストを理解 …△ (理解だけでは合格には不十分)	☒ テキストを読めば内容がわかる ☒ 比較が出来る (共通点・相違点) ☒ 具体例を挙げられる ☒ テキストを見ながらであれば、正解できる	講義・質問、 その他以下の各種アウトプット教材とテキスト <u>★アウトプットを通じて、インプットの穴を探す。</u>
理解に加えて、本試験当日(※)、テキストの内容を使える、想起できる…○	☒ 自力で初見の問題が正解できる ☒ 目次を見たり問題を解いた後、テキストの周辺論点の場合分けで思い出せる	問題集、テキスト目次、財理章扉 word 質問コーナーで理解度チェック (口述式問題演習)
上記に加えて、大きなやらかしをせず、得点に繋げ切る…◎	☒ やらかしミス対策として、工夫をしてある ☒ 時間配分で崩れない (&論文の場合…問を読み取って素直に過不足なく答えられる)	答練・問題集・全国模試 やらかしミス分析・対策をメモ (論文の場合、質問ルーム・質問コーナーで答案のフィードバックを受ける)

※ピーク合わせの例

★一度覚えたものも、2週間を超えると抜ける

全体確認 …試験前 10-14 日以内

細かい暗記…ふせんページ 3 日以内

財理・監査論テキスト…本試験前 1 ヶ月前までは 10 日-2 週間、最後の3週間は7日以内など

★本試験前 2 ヶ月前頃までに、講義受講・問題演習・テキストの復習を通じて理解を深める→丸暗記を減らす。

★細かい暗記が必要な対象を特定し、回転の下準備。メリハリ。

2 入門・基礎マスター期のポイント【10月HRから再掲】

入門・BM期のポイント

1. ゴールを知り、**逆算**する。学習環境を整え、定期的に問題演習・分析・相談を行う。

短期目標・・・毎回のミニテスト(満点を目指す)

詳細・・・スライドp.6~15

実力テスト(財務は7割超え、管理は90点超えを目指す)

中期目標・・・年末・5月GW頃や、各科目の上級講義開始時期

講義受講・復習(特に計算トレーニング・テキスト)について、
自分なりに積み残しのない状態にする。★未受験の実力テストがあれば、
受験・提出する。(全国模試以外は、締切を過ぎても
採点・成績反映される。)2. 財務・管理の**計算力**を付ける。★自分にとって「少し背伸びしたら解けるレベルの問題」を解く。
難易度が高過ぎると感じたら、補助としてテキストを見つ取り組む。トレーニング・テキスト例題について、スラスラ・ストレスなく解ける状態にする。**場合分けを整理**。

間違った箇所・解答時にストレスを感じた箇所については、テキストに必ず立ち返る。

解けなかった原因を言語化する(インプット不足・時間切れ・やらかしミス)。

詳細・・・スライドp.16~23

3. 理論科目は、**納得感**を重視する。★細かい結論・知識暗記よりも、全体像・理屈を意識。
短答直前期の暗記の負担を軽くする。テキストの内容について、**具体例をイメージ**しながらざっくり説明できるようにする。

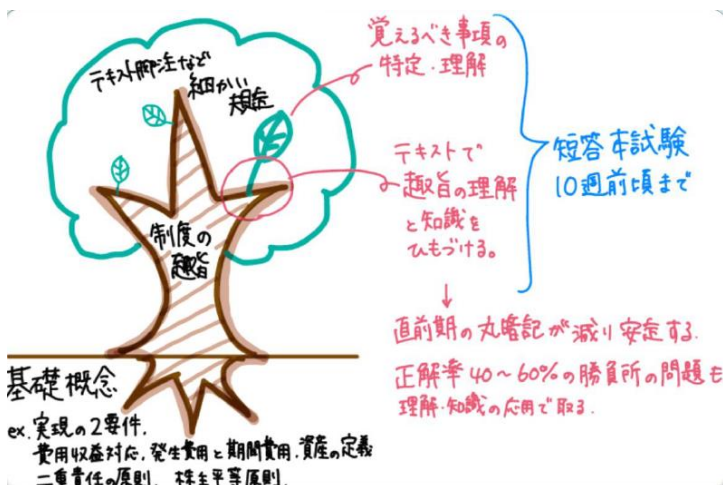
テキストを想起するきっかけとして、問題集などアウトプット教材を使う。

出やすい箇所・出題のされ方を知る。問題を解いたら、周辺論点まで想起。

詳細・・・スライドp.24~27

2022年10/24(月)24目標入門・BM期HR

5



理論科目

6月末までに目指す状態

◎理論科目の規定の理屈について、**納得感**がある。◎複数論点で、**比較**ができる。

共通点・相違点。

◎**具体例**が挙げられる。

◎ 短答問題集を解いたら、出題された箇所のテキスト周辺復習＆マーク。

★問題は解くが、短答2ヶ月前頃までは理解を重視。直前期の暗記を減らす。

3 学習ペースの組み方

★短答式試験の遅くとも**2ヶ月～2ヶ月半前**には下記講義受講を終わらせる。

入門・BM期のポイント ゴールを知り、逆算する		※下記の上級講義等回数は23目標参考値 ※「BM」…基礎マスターの略	
短答式試験までの講義回数目安		BM+上級講義 合計	
財務計算	入門Ⅰ…10回+補講1回、入門Ⅱ…5回 BM…全56回 (BMⅠ全15回、BM2全17回、BM3全12回、BM4全12回) 上級…12回+補講3回ほど	財務計算	71回
管理会計論	入門…9回、基礎マスター…21回、上級…13回ほど	管理会計論	34回
財務理論	基礎マスター…16回(2023年2月頃～)、上級…19回ほど	財務理論	35回
企業法	基礎マスター…26回、上級…16回ほど ※BM・上級講義でテキストを2周	企業法	42回
監査論	基礎マスター…5回(2023年4月頃～)、上級…15回ほど ※BM・上級講義でテキストを2周	監査論	20回
【講義受講の目安】			
短答式試験の2・3ヶ月前頃までに、上記基礎マスター・上級講義の受講を終了させる。			
基本のテキスト/問題集について、復習が多少不完全でも一通り終える。			
8月末に短答基礎答練があるため、上級講義受講を半分ほどは終えておきたい。			
※12月短答以降			
租税法 基礎マスター…7回、上級講義20回ほど(うち計算24回分、理論3回分) 合計27回ほど			
経営学 基礎マスター…10回、上級講義(理論) 合計17回ほど			
		2022年10/24(月)24目標入門・BM期HR 8	

★6月末(短答式試験の5ヶ月半前頃など)までに
計算科目の特に基礎マスターについて、
講義受講だけでなく
トレーニング(目安として、3回解き直しなど)・実力テストの復習と
テキストの復習。
※ミニテストを一気に解き直して穴を探すのも◎。

短答式試験の2ヶ月前(10月頃)から、
短答直前答練など実践的な問題演習・暗記。

※先取りアクセス…テキストやトレーニング・実力テスト・パワーアップ問題や
過去問集(易中)まで含めて全てスラスラストレスなく解けるようになっている
のであれば、検討してもOK。**通常教材が優先**。特に管理会計。基本的に1.5年コ
ースは適合市辛い。

科目間のバランス

入門・BM期のポイント 定期的な問題演習

科目間のバランス・使用教材・復習ペース《入門・BM期》

自習時間 配分例(講義以外)

財務計算 55~70%

管理会計論 10~25%

企業法 3~10%

財務理論(2月頃~) 5~15%

監査論(4月頃~) 2~10%

使用教材

トレーニング・テキスト・ミニテスト・
実力テスト・パワーアップ問題・過去問集

トレーニング(詰まったら例題集)・テキスト

テキスト太枠・図・講義中のメモ書き、
ミニテスト、短答問題集(特に★付きのA)章扉word・テキスト目次・テキスト・短答式確認問題・
論文式確認問題(テキスト想起のきっかけとして)重要コンセプト・学習上のポイント・テキスト・
短答問題集

参考:社会人受験生の配分例

平日30分~2時間 休日3~5時間

平日15分~1時間 休日1~3時間

5分~15分(毎日又は2日に1度)

10分~30分 休日1~2時間

5分~10分(毎日又は2・3日に1度)

★平日にまとまった時間が取れない分、
こまめに場合分けて計算処理を想起。

- 復習所要時間のイメージ... 1週間に受講した講義に対して、
計算科目は概ね1~3倍の復習時間(理論科目は0.5~2倍など)。
- 自習時間の15~40%などを数週間前の講義内容の復習(実力テストの準備、終わった基礎マスター範囲)に充てる。
曜日・時間帯を決めるのも◎。忘れていた論点の洗い出しにはミニテストを活用。

※2023年7月頃~ 短答基礎答練(8月末)に向けた総復習開始と共に、理論科目の自習時間を徐々に増やしていく。

※短答2ヶ月前頃からは、計算問題演習はトレーニングではなくアクセス(全15回)を活用して、計算の自習時間を圧縮。

自習時間のうち財務計算15~20%(苦手なら25%など)、管理会計論15%~18%、

財務理論20~25%、企業法20~25%、監査論18~20%とするイメージ(状況による)。

2022年10/24(月)24目標入門・BM期HR

9

★受講ペースを上げる場合も、講義週の計算トレーニング・実力テストまでの
復習を徹底。目次学習を活用。

★時間が限られる分、自習の負荷・頻度を上げてカバーする。

計算の中期目標 6月末には計算科目を得意に。

下記アクセス答練/短答基礎答練について、論点を仕上げる締切として活用

- 財務計算 短答アクセス答練 詳細な範囲指定有り・週1回
7月第2週頃~8月頭 テキスト1~4の基礎マスター論点
~9月第3週頃 テキスト5~9の基礎マスター論点
~10月第2週頃 テキスト1~9上級論点

- 管理会計論 短答アクセス答練 詳細な範囲指定有り・週1回
7月第2週頃~8月第2週頃 テキスト前半(上級論点含む)
~9月第2週頃 テキスト後半(上級論点含む)

4 2年コースの場合 3～6月のスケジュール例とポイント

※12月短答までの大まかなスケジュールとポイント…巻末資料参照

◆…最低限到達したい目標 ◇…理想目標

		ポイント
3月	財務理論が2月から開始	◆理論科目については、納得感を重視。丸暗記を減らす。 ◆管理…実力テストに向けて復習。 財計…トレーニング①～④（個別論点）は、◆実力テストまでに2回、上級講義までに+1回。◇正解できるまで解き直す。◆テキストで場合分けを整理（苦手な問題はふせん）。◇構造論点(テキスト⑤～⑨)は、実力テストやパワーアップ問題を活用。 ◇得意な論点は、過去問集にどんどんチャレンジして間違えて、テキストへ。
4月	3月末から監査論開始 財計上級講義開始 4月末以降 企業法上級・管理上級講義開始	監査論…◆財理と同じように、重要コンセプトで不明な言葉がないように。学習上のポイントは説明できるように。◇ミニテストで満点を狙う。 ★科目が増える分、総合問題形式や目次学習を活用。 管理…上級講義開始までに、テキスト・トレーニングの◆前半を1周復習。できれば◇後半まで1周し直す。場合分けで処理を明確に説明。 企業法について、◆テキスト太枠とミニテスト復習。できれば◇短答問題集のA問題とテキスト。
5月	5/28(日)短答試し受験	5月短答…◇自分なりに既習分野を仕上げて受ける。特に、財務計算と管理会計。 【◇財務計算10日ほどで1周するには】 過去問集やトレーニング等を一部解く→該当分野のテキスト目次確認・想起してから、出題されていない分野も含め1冊確認
6月	6月以降 財理/監査論上級講義開始 6/11(日)簿記1級※2ヶ月の4月頃から各商工会議所で申込み開始	◇財務計算の上級4回目あたり、管理会計の上級頭くらいまでで範囲は終わっている。もう一度総復習する機会として、簿記1級を活用。目安として、パワーアップが3回ほど解き直ししている&テキストを復習していると合格しやすい。◇1級の過去問はちらっと見るか、パワーアップが解き直しで90点超えているなら数回分やってもよいが、通常教材優先。

※先取りアクセス…パワーアップ問題や過去問集（易中）まで含めて全てスラスラストレスなく解けるようになっているのであれば、検討してもOK。通常教材が優先。

Ⅱ 5つの主なサポート制度の活用 ◆…必ず利用

全体向け

① 公式 LINE◆

24 目標初学者 LINEID @24tac (全て小文字)
登録用 URL <https://lin.ee/nyKJt3j>



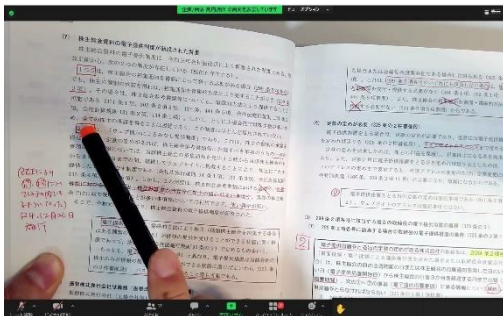
② オンラインセミナー◆

3ヶ月に1度&本試験直後に実施 30-40 分ほど
時期ごとの注意点、スケジュールの組み方・短期/中期目標

以下、双方向

③ Zoom 質問ルーム・1対1~20 名程/人数無制限 2~3週間に1度実施 挙手して質問 次回 3/21 (火-祝) 9-21 時

★質問・相談前に、直近で実施した状況別セミナーのスライド（できれば動画も）を確認しておく、より具体的な相談が可能。



←2/23 宮内講師の
質問ルームの様子

※ビデオオフ・ニックネームでの参加
や、視聴のみの参加も OK

個別・具体的な1対1のフィードバック

④ Zoom・対面質問コーナー 1対1(毎日実施 10分程前から先着順) 日程表(@C. P. A.) https://www.tac-school.co.jp/kouza kaikei/kaikei_gd_situmon.html

- 使用目的例
- ① 内容質問や論文答練答案のフィードバック
(自分の答案を画面共有し、コメントをもらうなど)
 - ② 各科目の学習相談(最低限/理想目標や短期・中期目標設定)
 - ③ 理解度チェック 章を指定して口述式で問題を出してもらう

⑤ 【予約制】個別学習成績相談(1~3ヶ月に一度利用など) 毎週土曜日 13 時 翌週分予約開始 25 分~久野講師は 45 分ずつ @C. P. A. 成績相談日程表内 リンクから予約

今後導入予定のサポート制度（その他にも企画中）

◎テキストチェックゼミ（オンライン予定）

6月以降、財務計算について短答アクセス答練の出題範囲に合わせて実施予定
講師が口頭で問題を出す→当てられた受講生（希望者）が口頭で答える

◎学習法・財理質問用 LINE オープンチャット

学習法（平林）・・・4月以降始動予定

財理・・・6月以降始動予定

◎オンライン自習室@仮想空間

大阪/台湾初のスタートアップ企業と開発中。

試行実施イベントとして、3/17(金)19-21 時交流会を実施。



3 よく伺う失敗談

参照：合格者からのメッセージ集

input

- 無理な計画を立て、睡眠時間を削り体調を崩した。
- 重要度の強弱を付ける意識が足りなかった。
- 自己判断で、重要な論点を切ってしまうていた。
- テキストに戻らず、問題集の解答・解説の確認で終わっていた。
- 講義やテストの実施がずれて投げやりな気持ちになり、放置した。
- 科目の先生と話したことがなく、自分が「理解した気になっている」ことに気づけなかった。
- 合格者と話したことがなく、最終的にテキストについてどの程度の理解・想起が必要か、体感できていなかった。

Output

- 完璧主義**に陥ってしまった。
- テキストの復習のみで、演習が足りなかった。
- スラスラ解ける問題をずっと解き続けていた。
- 人と話さず、アウトプットが足りなかった→**質問コーナー**で講師や**チューターに説明**することで、理解が強化されるようになった。

自己分析の結果や学習の方向性・優先順位が
大きく誤っていないか、定期的に確認・軌道修正。



日々の自習時にも、
自己分析・改善を繰り返す。

※講師・チューターへの相談時、

自己分析した結果や、解いた際の下書きを持参すると効果的。

Ⅲ 具体的な学習のポイント

1 財務理論

入門・BM期 理論科目 納得感を重視した復習

財務理論 復習方法具体例

★短答では理論科目で唯一の1問8点! (8/500点=1.6%)

論文でも、合計700点中120~140点ほどが財務理論。

財務理論を得意にするために、

財務計算のトレーニングに取り組む。

input



じっくり読みたくなったら付箋を貼り、一旦先に進み、別の時間で取り組むなど。

- テキスト章扉「word」やテキスト目次を確認し、内容やテキスト見開きのどこに書いてあるか想起。不明点はすぐに本文確認。
- テキスト重要論点について、具体例や計算処理をイメージできるか確認。論文論点は納得感を持てるように。
- イメージできないところに付箋を貼り、質問。
- テキストのうち覚えにくい結論・容認規定要件等について、消せるペンや付箋で強調。暗記の下準備。
【よく問われる論点】
原則(「~とする。」)・容認の関係
容認処理等が認められるための要件の個数・内容
場合分け、P/L・B/S区分、認識時点、計上金額の算定方法(CFの見積方法、割引率、控除・加算する要素)

output



- 短答確認問題を解き、周辺を想起。
テキストに戻り、マークを付け、周辺の重要箇所を復習。
余裕があれば、論文式確認問題をテキスト目次や章扉「word」のように、想起のきっかけとして使う。

★詳細は3月頃のホームルームで説明。

2022年10/24(月)24目標入門・BM期HR 26

◎問題を解く際・・・テキストのうち、どこが問われているか?を意識。

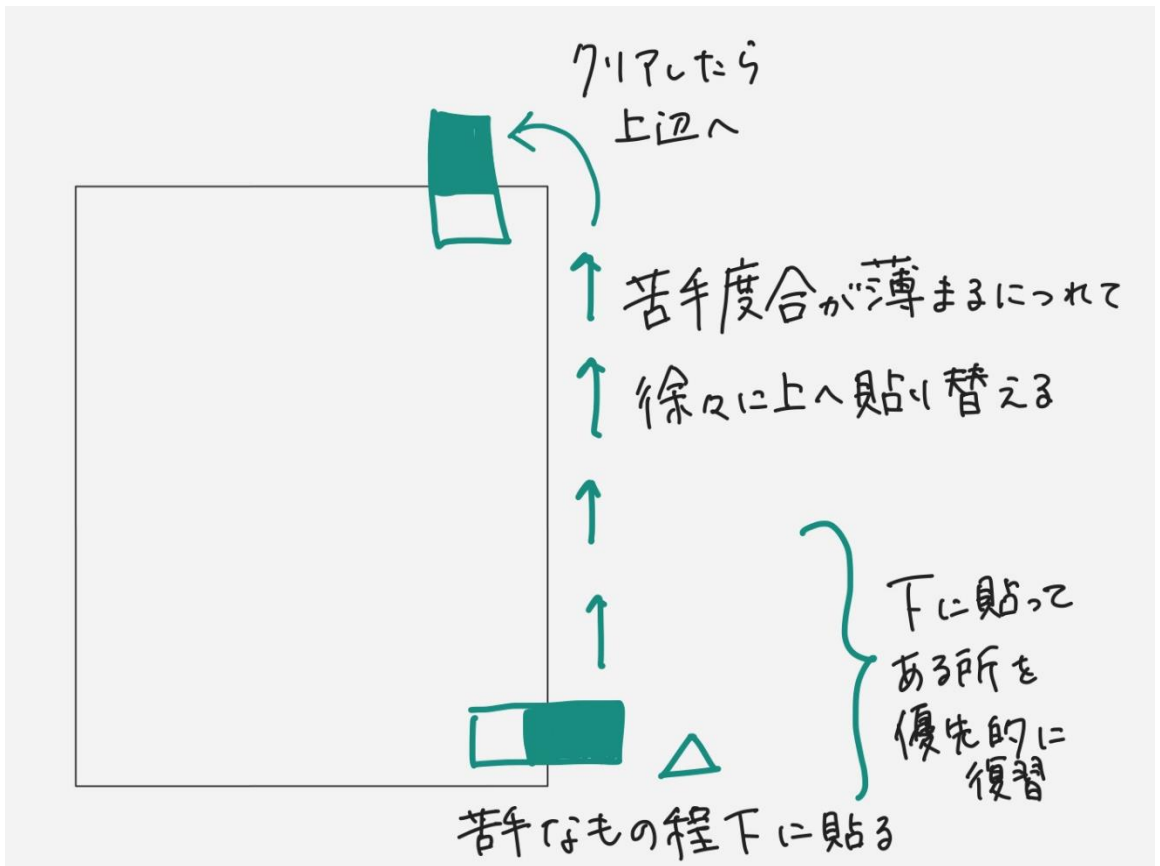
◎講義中に覚えるように指示される重要な概念の定義は、短答でも使う。

今から覚えてしまってもよい。主語や、目的語の関係を意識。

【ポイント】

論文時には、「参考法令基準集」が配付されるため、会計処理部分の表現を細かく暗記することは不要。マーカーや点線で強調されている部分のうち、理屈部分を覚える。

ふせんの活用 (セミナー後半リアルタイム Q&A で説明)



黄シール… 論文
答練で出たところ

(※22) 連結基礎概念とは、連結財務諸表は、どのような立場から、どのような性質を持つものとして作成されるかという仮定をいう。

社会人合格者インタビューから抜粋 愛媛通信生社会人合格Nさん

① どの国・環境下、同一性質の取引は統一されるか？

4. 親会社及び子会社が採用する会計方針（「連結基準」17, 57）☆☆☆☆

親会社と子会社の親会社と子会社は、それぞれが置かれた環境下の経済活動を行っているため、親会社と子会社の会計方針を統一することは、かえって連結財務諸表が企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適切に反映しなくなるということも考えられる。② 他方、同一環境下にある企業集団全体が、同一の性質の取引等について連結会社間で会計方針が異なっている場合には、統一された連結財務諸表を基として連結財務諸表が企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適切に反映しなくなることは否定できない。このような観点から、連結財務諸表作成にあたっては、同一環境下で行われた同一の性質の取引等について、親会社及び子会社が採用する会計方針は原則として統一することとされた。

なお、会計処理の統一にあたっては、より合理的な会計方針を選択すべきであり、子会社の会計処理を親会社の会計処理に合わせる場合のほか、親会社の会計処理を子会社の会計処理に合わせる場合もある。

③ 在外子会社のIFRS適用の可否

IV. 連結基礎概念（「連結基準」32, 39, 51, 53）☆☆☆☆

連結財務諸表については、連結財務諸表を主として親会社の株主の立場から作成するものとみなす親会社説と、連結財務諸表を非支配株主をも含めた企業集団全体の株主の立場から作成するものとみなす経済的単一体説という連結基礎概念④に照らして議論される。いずれの考え方においても、単一の指揮下にある企業集団全体の資産・負債と収益・費用を連結財務諸表に表示するという点では変わりはないが、資本に関しては、親会社説は、連結財務諸表を親会社の財務諸表の延長線上に位置づけて、親会社の株主の立場のみを反映させる考え方であるのに対して、経済的単一体説は、連結財務諸表を親会社とは区別される企業集団全体の財務諸表と位置づけて、企業集団を構成するすべての連結会社の株主の持分を反映させる考え方であるという点で異なっている。

「連結原則」では、連結財務諸表が提供する情報は主として親会社の投資者を対象とするものである。また、親会社による処理方法が企業集団の利益を適正に反映するより適切に反映することを求められ、親会社説の考え方によることとされている。「連結基準」でも、基本的にはそれが踏襲されている。

⑤ 連結原則の適用範囲

⑥ 連結原則の適用範囲

⑦ 連結原則の適用範囲

⑧ 連結原則の適用範囲

⑨ 連結原則の適用範囲

⑩ 連結原則の適用範囲

⑪ 連結原則の適用範囲

⑫ 連結原則の適用範囲

⑬ 連結原則の適用範囲

⑭ 連結原則の適用範囲

⑮ 連結原則の適用範囲

⑯ 連結原則の適用範囲

⑰ 連結原則の適用範囲

⑱ 連結原則の適用範囲

⑲ 連結原則の適用範囲

⑳ 連結原則の適用範囲

㉑ 連結原則の適用範囲

㉒ 連結原則の適用範囲

㉓ 連結原則の適用範囲

㉔ 連結原則の適用範囲

㉕ 連結原則の適用範囲

㉖ 連結原則の適用範囲

㉗ 連結原則の適用範囲

㉘ 連結原則の適用範囲

㉙ 連結原則の適用範囲

㉚ 連結原則の適用範囲

㉛ 連結原則の適用範囲

㉜ 連結原則の適用範囲

㉝ 連結原則の適用範囲

㉞ 連結原則の適用範囲

㉟ 連結原則の適用範囲

㊱ 連結原則の適用範囲

㊲ 連結原則の適用範囲

㊳ 連結原則の適用範囲

㊴ 連結原則の適用範囲

㊵ 連結原則の適用範囲

㊶ 連結原則の適用範囲

㊷ 連結原則の適用範囲

㊸ 連結原則の適用範囲

㊹ 連結原則の適用範囲

㊺ 連結原則の適用範囲

㊻ 連結原則の適用範囲

㊼ 連結原則の適用範囲

㊽ 連結原則の適用範囲

㊾ 連結原則の適用範囲

㊿ 連結原則の適用範囲

① 親会社説と経済的単一体説

親会社説（親会社概念）

経済的単一体説（実体概念）

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① 親会社説における連結実体

② 経済的単一体説における連結実体

③ 親会社説における連結実体

④ 経済的単一体説における連結実体

⑤ 親会社説における連結実体

⑥ 経済的単一体説における連結実体

⑦ 親会社説における連結実体

⑧ 経済的単一体説における連結実体

⑨ 親会社説における連結実体

⑩ 経済的単一体説における連結実体

⑪ 親会社説における連結実体

⑫ 経済的単一体説における連結実体

⑬ 親会社説における連結実体

⑭ 経済的単一体説における連結実体

⑮ 親会社説における連結実体

⑯ 経済的単一体説における連結実体

⑰ 親会社説における連結実体

⑱ 経済的単一体説における連結実体

⑲ 親会社説における連結実体

⑳ 経済的単一体説における連結実体

㉑ 親会社説における連結実体

㉒ 経済的単一体説における連結実体

㉓ 親会社説における連結実体

㉔ 経済的単一体説における連結実体

㉕ 親会社説における連結実体

㉖ 経済的単一体説における連結実体

㉗ 親会社説における連結実体

㉘ 経済的単一体説における連結実体

㉙ 親会社説における連結実体

㉚ 経済的単一体説における連結実体

㉛ 親会社説における連結実体

㉜ 経済的単一体説における連結実体

㉝ 親会社説における連結実体

㉞ 経済的単一体説における連結実体

㉟ 親会社説における連結実体

㊱ 経済的単一体説における連結実体

㊲ 親会社説における連結実体

㊳ 経済的単一体説における連結実体

㊴ 親会社説における連結実体

㊵ 経済的単一体説における連結実体

㊶ 親会社説における連結実体

㊷ 経済的単一体説における連結実体

㊸ 親会社説における連結実体

㊹ 経済的単一体説における連結実体

㊺ 親会社説における連結実体

㊻ 経済的単一体説における連結実体

㊼ 親会社説における連結実体

㊽ 経済的単一体説における連結実体

㊾ 親会社説における連結実体

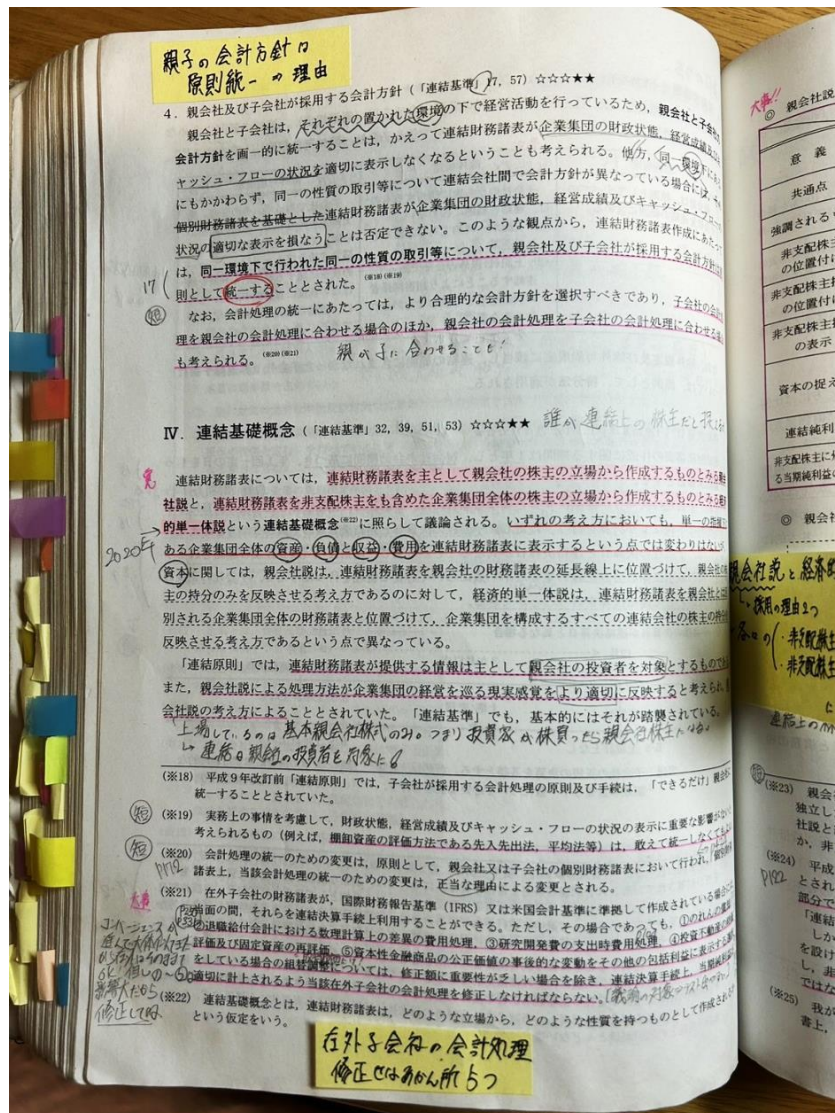
㊿ 経済的単一体説における連結実体

書き込みの意味

青ペン部分・・・テキスト
余白に自分への問題を書く。

答練等での出題箇所は
「モシ」「ア3」（アク
セス3回目）などメモ。

大学4年時5月短答→8月論文合格 京都校 Nさん



マーカー・ペンの色の意味（本人談）

講義中指示された箇所…全て色鉛筆で印、その後問題集や答練の中で間違えた部分をペンで塗る。1回間違えたら下線、2回間違えたらマーカーそれ以上は更に目立つように。

黄色の付箋…論文問題集の問題

目的は、テキスト一元化です。授業中に印を付ける時はテキストが新品だと思うので、色鉛筆でも目立ちます。(写真はピンク色の下線は色鉛筆です)

そして、直前期に近づくほど間違えたところを復習すべきなので、間違えたところが目立つようなテキスト作りを目的としていました。めちゃくちゃ重要と言われた部分は最初からマーカーで塗っていますが、薄めのマーカーを使用しています(連結基礎概念のところ)。間違えた箇所は付箋を貼っていました。

3/18状況別セミナー②登壇

阪本さん（早稲田校・日吉校チューター 2021年4月学習開始 12月短答合格・2022年8月論文合格））

1. 会計基準を設定するアプローチ ☆☆☆

会計基準を設定するアプローチには、帰納的アプローチと演繹的アプローチの2つがある。

	帰納的アプローチ	演繹的アプローチ
意義	実際に行われている会計処理方法を観察し、その中から一般的又は共通のものを抽出することによって、会計基準を設定する方法	会計の前提となる仮定や会計の目的を規定し、これらの仮定や目的と前提に基づいて具体的な会計処理のルールを導き出す方法
代表例	「企業会計原則」 ⁽⁸⁸⁾	「概念フレームワーク」

帰納的アプローチにより設定された会計基準は、広く普及した会計実務から構成されるため、**実務的**である一方、**会計実務に問題があっても問題を改善するような会計基準は形成されない**。また、**基準自体の適合性や適用の厳格性が確保される保証がない**等の問題がある。このような帰納的アプローチの問題を解消し、会計基準を理論的に体系付けするために、演繹的アプローチが主要なアプローチとして採用されている。

新しい会計分野や取引に対応するため、**③会計慣行が成熟していない**。

II. 会計公準 ☆☆

前提

会計公準とは、会計の理論的な基礎構造を構成する命題であり、それなくしては会計が成立しない意味で、会計理論や会計実務の最も基礎的な前提とされる。会計公準としてどのような命題を上げるべきについては諸説があるが、最も一般的と考えられるのは、**企業実体の公準**、**継続企業の公準**、**貨幣的評価の公準**の3つである。

企業実体の公準	継続企業の公準	貨幣的評価の公準
企業に投下された財産と資本について記録と計算を行うという会計の対象範囲を限定するもの	企業は継続的に営業活動を行っており、人為的に定められた一定の会計期間に区切って期間計算を行うという会計の対象を時間的に限定するもの	会計上の記録・計算・表示については、統一した貨幣的価値を有しているという前提
個別財務諸表・連結財務諸表	事業年度(1年)・四半期(3ヶ月)	円・ドル・ユーロ

企業 (企業の実体) 株主 (企業の実体) 法人には寿命がない 負債額が膨大になる 債権の区切りはどのよう? 人間的に区切る必要がある 会計の対象はどのよう?

III. 会計主体論 ☆☆☆

会計主体論とは、企業と出資者の関係をいかに解釈し、会計上の判断を出資者と企業のいずれの立場から行うべきかを考察するものである⁽⁸⁹⁾。代表的な見解として、資本主体論と企業主体理論がある。

	資本主体論 ⁽⁸⁹⁾ 現行	企業主体理論 ⁽⁸⁹⁾ 伝統的
意義	企業を資本主のものと考え、 会計の主体を資本主であると考える立場	企業を資本主とは別個独立の存在と捉え、 会計の主体を企業それ自体と考える立場
説明	資本主体論では、企業の資本はすべて出資者のものであり、その金額は出資者にとっての正の財産から負の財産を控除して算定される。貸借対照表上は、「正の財産は資産の部に、負の財産は負債の部に記載され、その純額は、資本主に帰属する部分として純資産の部に記載される。」 貸借対照表 資産 = 負債 + 資本 資本主に帰属する部分	企業主体理論では、自己資本(資本・返済不要)は、他人資本(負債・返済必要)と合わせて、資産の形で運用されていると位置付けられ、貸借対照表は、資金の調達源泉(貸方)と運用状況(借方)を対照表示することにより、企業の財政状態を描写していると考えられる。 貸借対照表等式: 資産 = 負債 + 資本 貸借対照表 資産 = 負債(返済必要) + 資本(返済不要) 調達源泉

株主の立場 企業の立場

立場によって会計が変わる

(89) 会計主体論(資本主体論や企業主体理論)は、企業会計上、企業をどのようにみるかという企業観を探究し、さらに、そこから会計処理等を考察するものである。したがって、会計主体論は、企業という実体が資本主とは別個に存在した計算構造であること、つまり、企業実体の公準を前提とした議論であるととらえられる。

(90) 現行の企業会計では株主に帰属する純利益が計算されている。また、資本助成目的の国庫補助金は払込資本とされている。さらに、株主に帰属する金額だけが株主資本とされている。そのため、現行の企業会計では、**会計上の判断は株主の観点から行われている(資本主体論)**といわれる。

(91) 伝統的な会計理論は、企業主体理論の立場に立っていたといわれる。

注記
ある場合は会計設計の前

- 12 -

- 13 -

3/18状況別セミナー②登壇

福田さん（2010年簿記1級取得 2015年3月 退職して学習開始 2016年12月短答合格・2017年8月論文合格 町田校）

黄色は短答用、青色は論文用と決めて、ハイライトしていました。また、短答答練で出題された箇所には赤シール、論文答練で出題された箇所には青シールを貼って復習することで、効率的にインプットできていたと思います。

p.184

I. 会計基準を設定するアプローチ (1L-1La 作り)

会計基準を設定するアプローチには、1. 帰納的アプローチと2. 演繹的アプローチの2つがある。

B.B 1. 帰納的アプローチ

① (1) 意義

帰納的アプローチ：まず最初に、実際に行われている会計処理の方法を観察し、その中からよりいっそう一般的又は共通的なものを抽出することによって、会計基準を設定する方法

例：企業会計原則

② (2) 内容

帰納的アプローチにより形成された会計基準は、すでに実務で広く普及した一般的な会計処理方法等から構成されているため、遵守され易いといえる。しかし、帰納的アプローチには、①会計実務に問題点があってもそれを改善するような会計基準は形成されにくく、また、②基準全体の整合性や首尾一貫性が確保される保証がない等の問題点がある。

例：A社B社C社でDepしている→Depする

③ (3) 内容

帰納的アプローチにより形成された会計基準は、すでに実務で広く普及した一般的な会計処理方法等から構成されているため、遵守され易いといえる。しかし、帰納的アプローチには、①会計実務に問題点があってもそれを改善するような会計基準は形成されにくく、また、②基準全体の整合性や首尾一貫性が確保される保証がない等の問題点がある。

例：A社B社C社でDepしている→Depする

B.B ② 2. 演繹的アプローチ

① (1) 意義

演繹的アプローチ：会計の前提となる仮定や会計の目的を最初に規定し、これらの仮定や目的と最もうまく首尾一貫するように具体的な会計処理のルールを導き出していく方法

例：概算

② (2) 内容

帰納的アプローチの問題点を解消し、会計基準を理論的に体系付けるために、演繹的アプローチが主張される。

演繹的アプローチの代表例には、財務会計の諸概念を規定したフレームワーク（概念フレームワーク）を設定し、これと首尾一貫する具体的な会計基準の再構築をめざす試みがある^(※1)。

例：建物・車両・器具・備品・新取得事業・その他

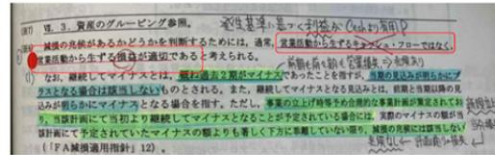
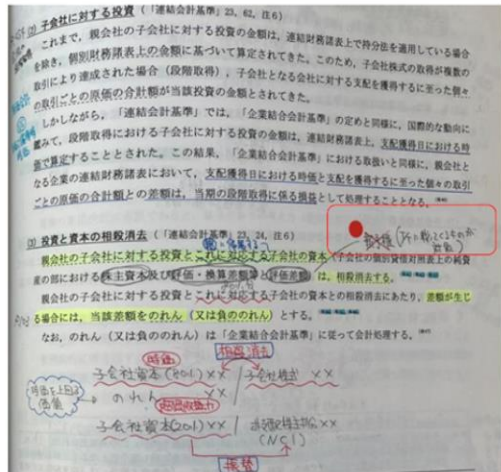
③ (3) 内容

帰納的アプローチにより形成された会計基準は、すでに実務で広く普及した一般的な会計処理方法等から構成されているため、遵守され易いといえる。しかし、帰納的アプローチには、①会計実務に問題点があってもそれを改善するような会計基準は形成されにくく、また、②基準全体の整合性や首尾一貫性が確保される保証がない等の問題点がある。

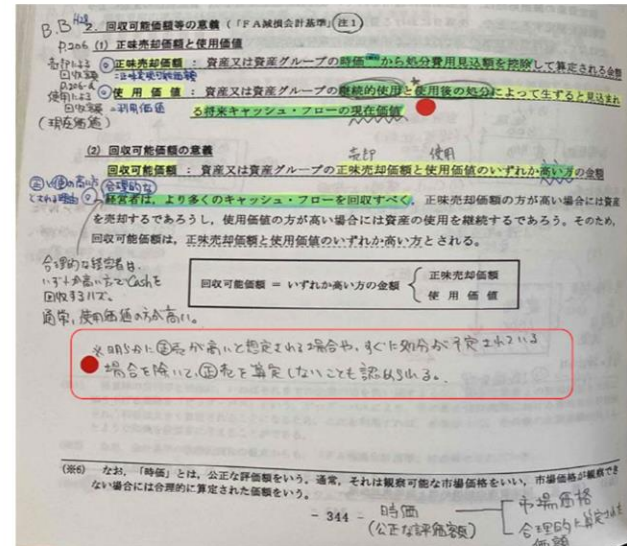
例：A社B社C社でDepしている→Depする

(※1) 「第16章 財務会計の概念フレームワーク」参照。

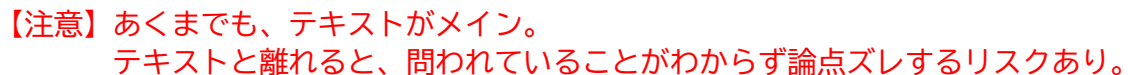
短答は細部まで暗記する必要があるため、答練の選択肢の記載を書き込んで×をつけたり、テキストの「ではなく」といった記載には×や○をつけて対比するなどし、視覚的に分かりやすいようにしていました。



短答の選択肢で、テキスト上にない肢もありますので、テキストへ適宜書き込みをしていました。



論文では、3冊のメモ帳にテキストの論点を全て集約し、回転させることで暗記し、並行してテキストを速読していました。監査も1冊か2冊程度のメモ帳を作成し、同様に利用していました。
メモ帳の作成に時間を要しますが、答練範囲に合わせて作成しつつ、答練準備を行いました。



2 監査論

入門・BM期 理論科目 納得感を重視した復習

監査論 復習方法具体例

★ テキストの内容をある程度説明できるようにする（特に章末の問題）。
復習の仕方や意識するポイントは、財務理論と概ね同様。

input



章・節扉の**重要コンセプト・学習上のポイント**やテキスト目次から、内容を**想起**。
内容やテキスト見開きのどこに書いてあるか**想起**。不明点はすぐに本文確認。
本文や講義中に触れた重要な脚注周辺について、重要な箇所から徐々に復習。



output



ざっくり理解した単元について、
テキストを横に置いて、短答問題集を解く。

出やすい箇所を把握し、テキストへマーク。周辺の復習。
出題のされ方を知る。×の理由をはっきり言えるだけでなく、正しい記述も説明。

問題を解く際に、テキスト関連ページが「見開き左下の論点だな」などよぎる状態にする。

★詳細は3月頃のホームルームで説明。

2022年10/24(月)24目標入門・BM期HR 27

概ね財務理論と同様。

重要な用語について、具体例や状況をイメージし、理解。

短答対策問題集からテキストにマークして、テキストへ一元化。

※監査論の短答対策問題集は、Aランクよりも上の、Sランク級に重要な論点。○か×かだけでなく、×ならば明確に誤っている理由を説明できる上に、正しくはどのように扱わなければならないかを説明。テキストにマークして、周辺まで重要性が高いと意識して復習。

監査論 2022 合格者のテキスト写真

※22 目標までは監基報番号記載がなかったため、自分で記載していた。

監査意見がこのような論理過程を経て形成されることから、監査要点を設定することには、その個別的な立証を重ねることを通じて、直接立証できない財務諸表全体としての適正性を間接的に立証することを可能とする意義があり、また、監査手続における直接の立証目的を特定化し、これに適合する監査手続を立案し実施することを可能とする意義がある。

(3) 監査要点の例

前掲の実施基準一3は、財務諸表の基礎となる取引種類、勘定残高及び注記事項ごとに立証すべき監査要点として一般的なものを例示している^(*)。

- ① **実在性**：資産、負債及び純資産が実際に存在し、取引や会計事象が実際に発生していること。
- ② **網羅性**：記録すべき資産、負債及び純資産、取引や会計事象が全て記録されていること並びに関連する注記事項が全て含まれていること。
- ③ **権利と義務の帰属**：企業は資産の権利を保有又は支配していること。また、負債は企業の義務であること。
- ④ **評価の妥当性**：資産、負債及び純資産が適切な金額で計上されていること。
- ⑤ **期間配分の適切性**：取引や会計事象が正しい期間に記録され、収益及び費用が適切な期間に配分されていること。
- ⑥ **表示の妥当性**：資産、負債及び純資産、取引や会計事象が適切に集計又は細分化され、明瞭に記述されていること、並びに関連する注記事項が目的適合性を有し、理解しやすいこと。

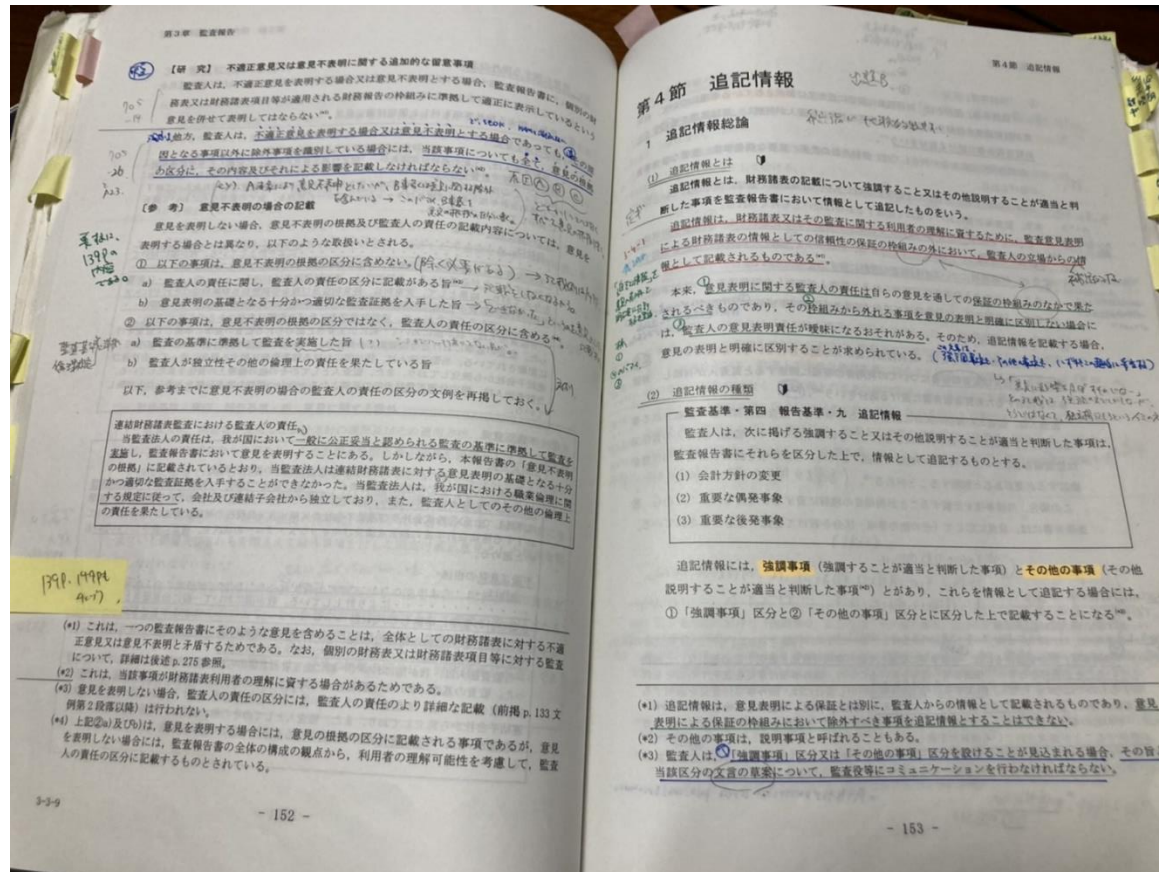
(4) アサーションと監査要点

アサーションとは、経営者が財務諸表において明示的か否かにかかわらず提示するものをいう。

適用される財務報告の枠組みに準拠して財務諸表を提示することにより、経営者は、明示的か否かにかかわらず、取引種類や会計事象、勘定残高及び注記事項の認識、測定並びに表示について表明（言明）を行っている^(*)。

財務諸表は、経営者が適用される財務報告の枠組みによって企業の状況を測定した結果を表明する情報であり、監査の目的は、その適正性に関する意見表明にある。そのため、監査人は、個別具体的に実施する監査手続の目的（監査要点）としてアサーションを利用する^(*)。

- (*)1 なお、監査基準が掲げている監査要点は、あくまで例示であるに過ぎず、監査要点は、監査を受ける企業の業種、組織、情報システムなどに対応して監査人が自らの判断で設定することが基本となる。
- (*)2 例えば、期末の勘定残高の記載は、実在性、権利と義務、網羅性、評価と期間配分等の要件を満たしていると経営者が表明していることになる。アサーションは、経営者の主張と呼ばれることもある。
- (*)3 監査人は、発生する可能性のある虚偽表示の種類を考慮する際にアサーションを利用する。



マーカー・ペンの色の意味

赤：最重要、暗記すべきポイント 青：答練などのミス反映箇所

緑：単なる強調に使う色 橙：講義中ラインマーカーと言われた箇所

最後に 社会人合格者インタビュー紹介(愛媛通信生 フルタイム在宅無 金融業)

2/9(木)19:00-20:30 実施

社会人合格者インタビュー 資料①体験記

内容	頁
1 時間の確保について (平日仕事をしながらに勉強時間を確保するか)	p. 2
2 勉強法について (1) 「分散学習」 (2) 「想起学習」	p. 2 p. 3
3 テキストへの一元化	p. 3
4 各科目のバランスについて ⇒図表：平日の過ごし方・2年間の勉強時間/配分記録 短答/論文直前期の過ごし方	p. 3-
5 オンラインサポートの活用方法 (個別成績相談、ホームルーム、テキストチェックゼミ)	p. 6
6 失敗談・途中改善したこと(全般・科目ごと) 参考：実際の論文式本試験成績表	p. 7
7 遠方通信生・社会人受験生へのメッセージ	p. 9
参考：テキストチェックゼミについて	p. 10

1 実際のスケジュール帳

入門・基礎マスター期 (2020年8月～受講開始 2022目標2年コース 在宅勤務なし、毎日出社)
2021年4月 赤...講義の受講予定 シャーペン...復習予定日

例
2/1 講義受講→マンスリー
カレンダーに、シャーペン
で下記復習日記入
①講義の1日後 2/2
②1週間後 2/8
③2週間後 2/15
④1ヶ月後 3/1
⑤2ヶ月後 4/15

★あくまで目安として記入。多少ずれても気にしていなかった。
特に、講義受講後の復習①②を重視していた。

平日の過ごし方(勉強時間5h35m)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
睡眠	起床	勉強(2h45m)	朝の準備	勉強(45m)	仕事	昼食	昼休み勉強(45m)	仕事	勉強(20m)	夕食休憩	勉強(1h)	風呂就寝準備	睡眠										

2年間の勉強時間 配分記録

歩きながらと電車の中で勉強(15m)
会社のデスクで勉強(30m)

歩きながらと電車の中で勉強(20m)

お風呂の中で、今日やったことを思い出しながら振り返り

(※1)

科目名	2020年12月	2021年1月	2021年2月	2021年3月	2021年4月	2021年5月	2021年6月	2021年7月	2021年8月	2021年9月	2021年10月	2021年11月	短答まで合計	比率
財務(計算)	51.32	63.21	70.35	78.24	75.42	76.10	38.15	60.28	52.17	35.33	43.42	42.35	689.38	33.6%
財務(理論)	0.00	0.00	7.21	24.14	29.33	22.43	22.44	45.07	39.13	35.38	40.37	37.22	304.32	14.8%
管理	43.13	20.27	44.18	44.46	32.37	39.31	34.44	47.34	44.07	43.02	37.45	40.22	472.26	23.0%
企業	14.96	31.40	21.43	34.33	29.98	31.43	29.39	24.00	22.98	29.42	38.40	33.35	348.16	17.0%
監査	0.00	0.00	0.00	0.00	13.04	38.02	24.33	26.01	24.37	35.13	38.49	35.00	238.23	11.6%
租税	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0%
経済	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0%
合計	109.41	115.34	143.58	181.57	184.54	206.09	149.55	253.20	193.12	179.06	194.37	188.54	2053.10	100.0%

(※1) 2021年10月頃より、各科目の勉強時間のバランスを取ることを要請。

隙間時間の使い方、何を意識して「何をやらなかったか」など、専念生の方にも広く参考になるはずです。冒頭のインタビュー部分 40 分ほどをぜひご視聴ください。※Q&A 部分 40 分程

内容抜粋

- 2 月頃講義増加し、睡眠を削る→体調を崩し、睡眠確保するよう修正
- 「モチベ」は特段考えず、勉強を日常化
- 隙間時間は Anki アプリ(○×ではなく、理論の重要概念)
- 前後 2・3 日のズレは気にしない(「崩れた」とも捉えない)
- 管理は章扉目次から想起
- ミスを言語化→テキストへ一元化

Web School「講座からのお知らせ」欄 アーカイブ配信ページか

相談窓口等 質問コーナー・個別相談・就職サポート

入門・BM期のポイント 相談環境を整える

講師への相談方法

● 質問・相談コーナー [校舎/zoom]

質問コーナー日程表 ▶
(受講生HP「@C.P.A」)



質問コーナー日程表

※日程表内「TA」…合格者チューター

★校舎の質問コーナーの方が、zoomよりも比較的空いています。
近くにお住まいの方は(通信生の方も含めて)、ぜひ校舎質問コーナーをご利用いただければ幸いです。

【zoom質問コーナーへの参加方法】

web school トップページ下段

「zoomを利用した質問・相談コーナーについて」リンクから
待機室へ(ビデオオフでOK。スマホからも接続可能)



● 個別成績・学習方法相談(久野/塚本/平林/蓮尾/藤野) [校舎/zoom]

毎週土曜日13時～次週1週間分をネット予約受付 ▶

※通常の質問コーナー(予約不要)でも、
学習全般の質問を各講師が承ります。



Web予約システム



個別成績・学習相談日程
(受講生HP「@C.P.A」)

2022年10/24(月)24目標入門・BM期HR 12

[質問・相談コーナー | 公認会計士 | 資格の学校 TAC\[タック\] \(tac-school.co.jp\)](https://tac-school.co.jp)

入門・BM期のポイント 相談環境を整える

TAC会計士講座 就職サポート(相澤)

監査法人や会計事務所等への就活・転職以外にも、
下記について相談可能。

- 一般事業会社への就職・転職
- 仕事を辞めて受験専念にするか
- 卒業後働きながら受験を継続するかどうか
- 受験対策を中断して就職する場合の、エントリーシートの添削等

フリーダイヤル【予約不要】0120-527-699(平日14～17時)
メール counselor@tac-school.co.jp

★Web予約システムの外、
メールで希望日時(平日午後・平日夜・土日など)を
伝えていただいて、日程調整の上、
zoomを使ったオンラインでの相談も可能です。

TAC就職相談 Web予約システム



2022年10/24(月)24目標入門・BM期HR 13

6

入門・BM期のポイント ゴールを知り、逆算する

短答式試験までの講義回数目安

※下記の上級講義等回数は23目標参考値
※「BM」…基礎マスターの略

財務計算 入門Ⅰ…10回+補講1回、入門Ⅱ…5回
BM…全56回 (BM1全15回、BM2全17回、BM3全12回、BM4全12回)
上級…12回+補講3回ほど

管理会計論 入門…9回、基礎マスター…21回、上級…13回ほど

財務理論 基礎マスター…16回 (2023年2月頃～)、上級…19回ほど

企業法 基礎マスター…26回、上級…16回ほど ※BM・上級講義でテキストを2周

監査論 基礎マスター…5回 (2023年4月頃～)、上級…15回ほど

※BM・上級講義でテキストを2周

BM+上級講義 合計

財務計算 71回

管理会計論 34回

財務理論 35回

企業法 42回

監査論 20回

【講義受講の目安】

短答式試験の2・3ヶ月前頃までに、上記基礎マスター・上級講義の受講を終了させる。

基本のテキスト/問題集について、復習が多少不完全でも一通り終える。

8月末に短答基礎答練があるため、上級講義受講を半分ほどは終えておきたい。

※12月短答以降

租税法 基礎マスター…7回、上級講義20回ほど(うち計算24回分、理論3回分) 合計27回ほど

経営学 基礎マスター…10回、上級講義(理論) 合計17回ほど

2022年10/24(月)24目標入門・BM期HR

8

入門・BM期のポイント 定期的な問題演習

科目間のバランス・使用教材・復習ペース《入門・BM期》

自習時間 配分例(講義以外)

財務計算 55~70%

管理会計論 10~25%

企業法 3~10%

財務理論(2月頃～) 5~15%

監査論(4月頃～) 2~10%

使用教材

トレーニング・テキスト・ミニテスト・
実力テスト・パワーアップ問題・過去問集

トレーニング(詰まったら例題集)・テキスト

テキスト太枠・図・講義中のメモ書き、
ミニテスト、短答問題集(特に★付きのA)

章扉word・テキスト目次・テキスト・短答式確認問題・
論文式確認問題(テキスト想起のきっかけとして)

重要コンセプト・学習上のポイント・テキスト・
短答問題集

参考:社会人受験生の配分例

平日30分~2時間 休日3~5時間

平日15分~1時間 休日1~3時間

5分~15分(毎日又は2日に1度)

10分~30分 休日1~2時間

5分~10分(毎日又は2・3日に1度)

★平日にまとまった時間が取れない分、
こまめの場合分けて計算処理を想起。

- 復習所要時間のイメージ…1週間に受講した講義に対して、
計算科目は概ね1~3倍の復習時間(理論科目は0.5~2倍など)。
- 自習時間の15~40%などを数週間前の講義内容の復習(実力テストの準備、終わった基礎マスター範囲)に充てる。
曜日・時間帯を決めるのも◎。忘れていた論点の洗い出しにはミニテストを活用。

※2023年7月頃～ 短答基礎答練(8月末)に向けた総復習開始と共に、理論科目の自習時間を徐々に増やしていく。

※短答2ヶ月前頃からは、計算問題演習はトレーニングではなくアクセス(全15回)を活用して、計算の自習時間を圧縮。

自習時間のうち**財務計算15~20%(苦手なら25%など)**、**管理会計論15%~18%**、

財務理論20~25%、**企業法20~25%**、**監査論18~20%**とするイメージ(状況による)。

2022年10/24(月)24目標入門・BM期HR

9

財理・監査論以外の復習方法具体例

入門・BM期 計算力を付ける

財務計算 復習方法具体例

output



まずは実際に問題を解く。

ex. 「今日はテキストIに取り組もう」

→ トレーニング①のうち、解けなかった問題

(詰まったら、テキストを確認。苦手な論点洗い出しに、ミニテスト活用。)

input



- 正解できなかった場合、原因を言語化。
- 解いた論点の**周辺分野を想起**。
他にどんな処理方法があったか？場合分けて思い出す。
- テキストで、**アウトプット時に触れなかった論点も含めて**
ざっと点検。段階損益・B/S区分など。

慣れると20分ほどで1日1冊確認など。電卓は叩かない。

※4〜6回など解いてスラスラ解ける・数字を覚えたトレーニング問題は、順次卒業。過去問集などへ移行。
気になったら、付箋を貼っておき、間を空けて後日解く(付箋に1ヶ月後の日付を予め入れるなど)。
網羅性はテキストで確保する。近日配付される、パワーアップ問題(総合問題形式)も活用。

2022年10/24(月)24目標入門・BM期HR

16

やらかしミス 原因と対策例

原因	対策例
①資料の読み飛ばし、 年度・決算日、税率、単位、 四捨五入、償還日・事業 供用日の指示をチェックもれ	マーカーや色ペンを使いながら読む。 (短答・論文共に、問題用紙・下書き用紙には使用可能) ✓マークを資料脇に付す(右端改行付近が読み飛ばしやすい)。 事前にこれまでのやらかしミスまとめ等を振り返る。
②下書きを省略しすぎた	講師の下書きを参考に 過不足なく書く 。 月割計算 がある論点は特に注意。
③自分の下書きの読み間違い	数字ははっきり書く。自習時からB5などに 下書きを大きく書く 。
④電卓を使わず暗算してミス	極力暗算はしない 。月割は指折り数えるなど。
⑤電卓の打ち間違い	打つスピードを緩める(処理を思い出すスピードを速くする)。 ブラインドタッチはしない。特に重要な箇所は、気持ちゆっくり 1・2度電卓を入れるなど。
⑥電卓や資料からの転記ミス	転記時に、ペンで 指差し確認 。電卓は体の近くで打つ。
⑦指示をチェックしたが、 解いているうちに忘れた	解答中の自分の目の動きを振り返り、 目に入る場所を書く 。 解答選択直前に、一旦問題用紙・下書き全体を俯瞰。

入門・BM期 計算力を付ける

管理会計論 (計算/理論) 復習方法具体例

★基礎マスター期までは
正確性を意識。

input



- テキスト目次を見て、処理の場合分けを**想起**。
ex. 作業屑の処理…2パターン
- 言葉の意味、計算目的・長所/短所、計算処理の場合分けを意識して、**テキスト本文・脚注を丁寧に確認**。

output



その日もしくは前日テキストを確認した単元について、
トレーニングを解く。詰まったら、テキスト又は例題集を補助として取り組む。

問題を解いたら、**テキストの周辺知識想起**。

解けなかった場合は、**テキストのどこを覚えていなかったか?**など言語化。

毎回のミニテストで満点、実力テストは90点以上を目指して取り組む。

2022年10/24(月)24目標入門・BM期HR

17

入門・BM期 理論科目 納得感を重視した復習

企業法 復習方法具体例

input



- まず全体的に、**テキスト太枠の趣旨や図解の具体例**について、
納得感が持てる程度までざっくり復習。5分程度パラパラ眺めるだけでもOK。
- テキスト論点ごとの**まとめ表**を使って複数論点比較(付箋を貼っておく)。
腑に落ちないところは太枠へ戻る。
★短答直前期の暗記が減るように、趣旨・規定の強弱に納得感を持つ。

output



テキスト太枠・図解がざっくり納得できた章について、
確認テストとして、上記の後を追う形で

ごく簡単な短答問題(ミニテスト又は短答問題集のA問)を
使って復習を進める。※短答問題集は、★付きのA問だけなら900問ほど。

趣旨がわからない規定はテキスト確認。

テキストを横に置いて、★付きのA問の箇所をテキストまとめ表等で強調しながら進めると、丁寧に復習できる。
実力テストまでに**テキスト・ミニテスト**を1周、上級講義開始または終了までにもう1周。

短答基礎答練に向けて、短答問題集Aを1周。※B・Cは、Aが根拠を持って解けるようになってから。

特によく間違える問題は、六法にマーカーを引き、柱書・ただし書きなど条文構造を確認するのも◎。

税関設計自由の原則に対する例外 (217条、218条) の内容・趣旨	
条 文	趣 旨
217条1号 国産品は、税関検査官の検査ししめられなければならない。	国産品は、輸入品と区別するために、税関に於ける検査を受ける必要がある。ただし、国産品の検査は、輸入品の検査と異なり、輸入品の検査官による検査を受ける必要はない。
217条2号 国産品は、税関検査官の検査ししめられなければならない。	国産品の検査は、輸入品の検査と異なり、輸入品の検査官による検査を受ける必要はない。
217条3号 国産品は、税関検査官の検査ししめられなければならない。	国産品の検査は、輸入品の検査と異なり、輸入品の検査官による検査を受ける必要はない。
217条4号 国産品は、税関検査官の検査ししめられなければならない。	国産品の検査は、輸入品の検査と異なり、輸入品の検査官による検査を受ける必要はない。
217条5号 国産品は、税関検査官の検査ししめられなければならない。	国産品の検査は、輸入品の検査と異なり、輸入品の検査官による検査を受ける必要はない。
217条6号 国産品は、税関検査官の検査ししめられなければならない。	国産品の検査は、輸入品の検査と異なり、輸入品の検査官による検査を受ける必要はない。
217条7号 国産品は、税関検査官の検査ししめられなければならない。	国産品の検査は、輸入品の検査と異なり、輸入品の検査官による検査を受ける必要はない。
217条8号 国産品は、税関検査官の検査ししめられなければならない。	国産品の検査は、輸入品の検査と異なり、輸入品の検査官による検査を受ける必要はない。
217条9号 国産品は、税関検査官の検査ししめられなければならない。	国産品の検査は、輸入品の検査と異なり、輸入品の検査官による検査を受ける必要はない。
217条10号 国産品は、税関検査官の検査ししめられなければならない。	国産品の検査は、輸入品の検査と異なり、輸入品の検査官による検査を受ける必要はない。

参考資料 23 目標 12 月短答後 HR から 12 月以降8月論文までのスケジュール目安

12月短答以降スケジュール目安		2022年12/12(月)短答後セミナー 今後のスケジュールとポイント 8	
12月	Input 強化	Output 強化	★4月までのアクセス・答練は、出題範囲有。 5月短答生も計算力アップ・理解強化のため適宜活用。
1月	テキストの内容・基礎的な概念を理解し、口頭で説明できる状態に。	Outputを通じて、Inputの穴を探す。足りない力を分析。	論文アクセス 論文答練
2月	初年度生も、租税法以外の論文対策講義を適宜活用(ゼロ円登録)。	問題文の読み取りと素直な答え方、部分点の取り方等を身に付ける。	財務 計算 管理会計論 論文アクセス 前半10回
3月	上級生は、インプット強化にWeb論点別講義を活用。(財理・監査論は全て受け直してもOK)	各種アクセス/答練のほか、3月末にかけて管理・監査論テキストチェックゼミや論文対策講義を活用。(気になる科目はガイダンスとして各1回目冒頭を受講)	2月頃 租税法 アクセス (先取りアクセス調整中)
4月			基礎答練 3回 (企業法は4回) ★問題文の読み取り、問への素直な答え方を身に付ける
5月			応用答練 2回 ★応用的な問題での部分点の取り方、時間配分の練習等
6月			★全科目、テキストを大事に。納得感を持てるか。 テキストを閉じて、想起・説明できるか。 財理は2～6章など受け直してもOK。 ★4月までのアクセス・答練は、 範囲指定あり 。 準備して受験し、インプット・アウトプット双方強化。
7月			【5月短答を受験する場合】 5月短答・8月論文ネット出願 2/6～2/27メロ
8月			3月末までは、理屈重視。 状況に応じて論文アクセスなど活用。 4月に入ったら、論述対策や、租税法・選択科目はストップ。 短答知識暗記。 状況別のスケジュールについては12/12(月)セミナーで詳述。
			【5月短答を受験する場合】 3月末までは理屈重視 4月頃～ 回転期(短答向けの知識暗記) 3月後半 5月短答向け 短答直前答練1 4月頭 直前答練2 (照準を合わせる) 5月頭 短答全国模試 5月2週目頃 直前答練3
			4月末 論文公開模試 第1回 (5月短答生は短答後に活用)
			理論補強答練1・2 (5月短答生は短答後に活用)
			5/28(日)5月短答式試験
			論文直前講義 各1回
			財計・管理・租税計算アクセス後半 論文直前答練1・2
			6月末 論文公開模試 第2回
			論文直前答練 3 (監査企業のみ4回目あり)
			回転期 インプット詰め&アウトプット力維持/強化 会計学計算・・・2週間以内に論点1周、 その他は7日～2週間以内に論点1周、暗記は毎日など。
			8/18- 論文式試験

TAC 平林 24 目標 現在基礎マスター3・4 受講中の方向け
3月以降のスケジュールとポイント

【 M E M O 】

TAC 平林 24 目標 現在基礎マスター3・4 受講中の方向け
3月以降のスケジュールとポイント